



暑さ寒さも彼岸までと言いますが、この彼岸とは「悟りの世界」。煩惱と迷いの世界であるこの世【此岸(しがん)】にある者が、修行をする事で「悟りの世界」すなわち【「彼岸」(ひがん)】の境地へ到達することが出来るというものです。太陽が真東から上がって、真西に沈み、昼と夜の長さが同じになる春分、と秋分の日を挟んだ前後3日の計7日間が「彼岸」。「悟りの世界」には程遠いものがありますが、せめてこの時期、墓前に花を手向け手をあわせたいと思います。

<第111回 ほほえみの会>

新しい方、堀越先生含め5人の参加でした。

3歳1ヶ月女の子、急性リンパ性白血病。発熱が続き近所の病院から県立総合病院を経てこども病院へ入院。まだ4日目、明日から抗がん剤治療を始める。病院を変わるたびに不安が募り、最後に病名がわかり大きなショック。テレビドラマのイメージがあり白衣を着て無菌室に入って治療をするものだと思っていた。医師の説明を聞き治る病気だと知った。子供とも今まで離れたことがなかったので親として辛い。また、11月には出産予定で赤ちゃんの方も心配。臍帯血の採取も考えていて産科医と相談をしたい。会で他の皆さんの体験話を聞くうちに「先生のお話ではプラス思考になれなかったけど・・・」と、だいぶ気分が楽になったようです。

病棟保育のあり方について保育士さんから右のような提案があり、9月から実施されています。各病棟に専任の保育士さんにいて欲しいのは会としての以前からの要望ですが、今だ設置されていない病棟の子供たちのことも考えて、新しい形を考えたとのこと。また、意見がありましたら病院とも話をしていきますのでご連絡下さい。

平成16年8月吉日
入院患者 御家族の皆様へ
静岡県立こども病院

保育士の活動形態変更について

当院には現在、保育士を4名配置しております。7病棟中4病棟(北3、北4、北5、S2)に配置となっております。しかし、C2、C3病棟については長年保育士不在の為、御家族、看護師、医療従事者より保育活動の充実が強く求められております。こうした中、保育活動の一環として全入院児を対象に平成7年度よりクリスマス会を、平成12年度より夏祭りを実施してまいりました。その後も3名の保育士で全入院児対象の保育活動を色々と模索しながら展開してまいりました。

今回、全入院児(北2を除く)の発達を支援する目的から全面的に保育活動形態を変更し、平成16年9月1日(水)より下記のような保育士の配置で保育活動を展開することに致しました。何卒活動の主旨をご理解いただき御了承いただけますようお願い申し上げます。

記
週間スケジュール

月	北3	山本	小澤	C2	大橋	C3	高田
火	北4	大橋		北5	小澤	S2	山本 高田
水	北3	山本		北5	大橋	C2	高田 小澤
木(第3除く)	療育室での全入院児(北2を除く)を対象とした保育						
金	北4	大橋	小澤	C3	山本	S2	高田

各病棟担当保育士

北3・・・山本 北4・・・大橋 北5・・・小澤
C2・・・大橋 C3・・・山本 S2・・・高田

次回 総会は 10月 10日(日) 11時からです

ほほえみの会 代表 池田恵一 TEL054-247-9560

E-mailアドレス k_1ikeda@yahoo.co.jp

ホームページ <http://www.geocities.jp/hohoeminokai/>

ホームページを新しく作り直しました。ご覧下さい。